

1.	①	11.	①	21.	③	31.	③	41.	④
2.	③	12.	②	22.	③	32.	③	42.	③
3.	①	13.	②	23.	②	33.	①	43.	①
4.	①	14.	②	24.	②	34.	②	44.	③
5.	④	15.	④	25.	①	35.	①	45.	④
6.	①	16.	①	26.	②	36.	④	46.	④
7.	④	17.	④	27.	③	37.	③	47.	③
8.	②	18.	③	28.	②	38.	④	48.	①
9.	①	19.	④	29.	④	39.	③	49.	④
10.	①	20.	④	30.	②	40.	②	50.	②

1.

解答 ①

【解説】

正解は①「A を B と名付ける」です。動詞の「name」は「～に名前をつける」という意味があり、「name A B」の形で「A（人やペットなど）を B（名前）と名付ける」という使い方をします。問題文は「彼らは自分たちの赤ちゃんを花子と名付けた」という意味です。②「A を B と呼ぶ」は call A B が一般的です。③、④は全く意味の異なる動詞です。

◆補足：be named after ～ の形で、「～にちなんで名付けられる」という受け身の表現もよく使われます。例：He was named after his grandfather.（彼はおじいさんにちなんで名付けられました。）

2.

解答 ③

【解説】

正解は③「himself」です。これは再帰代名詞と呼ばれ、「彼自身」という意味を表します。主語と目的語が同じ人物になるとき（例：He hurt himself. 彼は自分自身を傷つけた＝けがをした）や、動作を強調するとき（例：He did it himself. 彼はそれを自分自身でやった）に使います。①は「彼女自身」、②は「それ自身」、④は「あなた自身」です。

◆補足：by oneself で「一人で、独力で」という意味の熟語になります。例：He went to the movies by himself.（彼は一人で映画に行きました。）これは alone と同じ意味で使えます。

3.

解答 ①

【解説】

正解は①「～に達する、届く」です。「reach」は、ある場所や目標に「到着する、到達する」という意味の動詞です。arrive at と似ていますが、reach は後ろに前置詞を必要としないのがポイントです。

「We reached the top of the mountain.」（私たちは山の頂上に着いた。）②「～を教える」は teach、③「～を読む」は read、④「～を繰り返す」は repeat です。

◆補足：手を伸ばして「～に手が届く」という意味でも使われます。例：Can you reach the book on the top shelf?（一番上の棚の本に手が届きますか？）

4.

解答 ①

【解説】

正解は①「前部、正面」です。「front」は、物や建物の「前の部分」や「正面」を指す名詞です。「the front of the building」（建物の正面）のように使います。②「後部」は back や rear、③「側面」は side、④「上部」は top です。

◆補足：in front of ～で「～の前に」という重要な前置詞句になります。例：There is a big tree in front of my house.（私の家の前に大きな木があります。）

5.

解答 ④

【解説】

正解は④「uncle」です。自分の親の兄弟（おじ）、または親の姉妹の配偶者（おじ）を指す言葉です。

「My uncle lives in Hiroshima.」（私のおじは広島に住んでいます）のように使います。①「aunt」は「おば」、②「father」は「父」、③「nephew」は兄弟姉妹の息子である「おい」を指します。

◆補足：自分の親（parents）、祖父母（grandparents）、おじ（uncle）、おば（aunt）、いとこ（cousin）は、まとめて「relatives」（親戚）と言います。

6.

解答 ①

【解説】

正解は①「～と感じる、～の気分である」です。「feel」は、体の調子や気持ちなど、心や体で「感じる」ことを表す動詞です。「I feel happy.」（私は幸せな気分です）や「How are you feeling?」（気分は

どうですか?) のように使います。②「～を見る」は **see**、③「～を聞く」は **hear**、④「～を考える」は **think** が一般的な単語です。

◆補足: 「feel」の過去形・過去分詞形は「felt」です。不規則に変化するので注意しましょう。feel like doing の形で「～したい気分だ」という便利な表現も作れます。例: I feel like going for a walk. (散歩に行きたい気分だ。)

7.

解答 ④

【解説】

正解は④「a few」です。「少数の、2～3 の」という意味で、数えられる名詞の複数形の前につきます。「I have a few questions.」(いくつか質問があります) のように使います。重要なのは、a があることで「少しはある」という肯定的な意味になる点です。②の few は a がなく、「ほとんど～ない」という否定的な意味になります。①の a little は数えられない名詞に使います。③some は a few よりは少し多いイメージです。

◆補足: a few (数えられる) と a little (数えられない) の使い分けは英語の基本ルールです。a few friends (数人の友達)、a little money (少しのお金) のように、後ろに来る名詞に注意しましょう。

8.

解答 ②

【解説】

正解は②「趣味」です。日本語の「ホビー」と同じで、楽しみのためにする活動を指します。「What's your hobby?」(あなたの趣味は何ですか?) という質問は自己紹介の定番ですね。複数形は hobbies と、y を i に変えて es をつけます。「My hobbies are reading books and listening to music.」(私の趣味は読書と音楽鑑賞です。)

◆補足: 趣味を答えるときは、「My hobby is swimming.」のように動名詞(-ing)を使ったり、「My hobby is to swim.」のように to 不定詞を使ったりすることができます。

9.

解答 ①

【解説】

正解は①「しばしば、よく」という意味の副詞です。「I often go to the library.」(私はよく図書館に行きます) のように使います。②「いつも」は always、③「時々」は sometimes、④「決して～ない」は never で表され、それぞれ頻度の度合いが異なります。

◆補足: 頻度の副詞は、一般動詞の前、be 動詞や助動詞の後ろに置かれることが多いです。「どのくらい頻繁に～しますか?」と尋ねる時は「How often do you ~?」という疑問文を使います。

10.

解答 ①

【解説】

正解は①「交換留学生」です。「exchange」は「交換する」、「student」は「生徒、学生」なので、二つ合わせて「交換留学生」という意味になります。学校間の交流プログラムなどで、外国から来たり、外国へ行ったりする学生のことですね。「We have a new exchange student from Canada.」（カナダからの新しい交換留学生がいます）のように使います。

◆補足：「留学する」は“study abroad”と言います。「exchange program」（交換留学プログラム）という言葉もよく使われます。

11.

解答 ①

【解説】

正解は①「ワクワクさせる、興奮させる」です。「It was an exciting soccer game.」（それはハラハラするようなサッカーの試合でした）のように、物事を主語にすることが多いです。②「退屈な」は boring、③「驚くべき」は surprising、④「興味深い」は interesting です。

◆補足：人が「ワクワクしている」という感情を表すときは、-ed をつけた「excited」を使います。例：I'm so excited!（すごくワクワクする!）「-ing」は物事が主語、「-ed」は人が主語、と覚えておくくと便利です。

12.

解答 ②

【解説】

正解は②「気をつけてね、お元気で。」です。「Take care.」は、別れ際に相手の健康や安全を気遣って言う挨拶の言葉です。「Goodbye」や「See you」の代わりに、またはそれらに付け加えて使われます。特に、しばらく会わない相手に対して使うことが多いです。①、③、④は全く意味が異なります。

◆補足：もともとは「Take care of yourself.」（あなた自身の体を大事にしてください）という文が短くなったものです。誰かの世話をするという意味の take care of ～という熟語も重要です。

13.

解答 ②

【解説】

正解は②「also」です。「～もまた、さらに」と、付け加えるときに使う副詞です。①の too と意味は似ていますが、too が文の最後に置かれることが多いのに対し、also は一般動詞の前や be 動詞の後ろ

など、文の途中に置かれるのが特徴です。「I can play the piano, and I can also sing.」（私はピアノが弾けて、さらに歌うこともできます。）①too は文末、③either は否定文、④only は「～だけ」という意味です。

◆補足：not only A but also B（A だけでなく B も）という重要な構文でも使われますね。まずは基本的な「～もまた」の使い方をマスターしましょう。

14.

解答 ②

【解説】

正解は②「今すぐ、ちょうど今」です。「now」だけでも「今」という意味ですが、「right」をつけることでその意味を強調し、「まさに今」「今すぐに」というニュアンスになります。「I'm busy right now.」（今、すごく忙しいんです）のように使います。①「後で」は later、③「しばらくして」は after a while、④「最近」は recently です。

◆補足：「right here」（すぐここに）や「right there」（すぐそこに）のように、right は場所を表す言葉を強調するためにも使われます。

15.

解答 ④

【解説】

正解は④「理科、科学」です。「science」は、自然界の現象などを研究する学問分野全般を指し、学校の教科としては「理科」にあたります。「He is interested in science.」（彼は科学に興味があります）のように使います。①「社会」は social studies、②「体育」は P.E. (Physical Education)、③「美術」は art です。

◆補足：science から派生した「scientist」（科学者）という単語も重要です。また、science fiction で「SF、空想科学小説」という意味になります。

16.

解答 ①

【解説】

正解は①「リュックサック、バックパック」です。「back」（背中）と「pack」（包み）が合わさった単語で、背中に背負うカバン、つまり「リュックサック」のことです。②「ハンドバッグ」は handbag、③「スーツケース」は suitcase、④「財布」は wallet や purse と言います。

◆補足：「リュックサック」はドイツ語由来の言葉なので、英語では backpack を使うのが一般的です。バックパックを背負って旅行する人は backpacker（バックパッカー）と呼ばれますね。

17.

解答 ④

【解説】

正解は④「strange」です。「I heard a strange noise last night.」(昨夜、奇妙な物音を聞きました。)①「strong」は「強い」、②「straight」は「まっすぐな」、③「strict」は「厳しい」という意味です。スペルが似ているので、しっかり区別しましょう。

◆補足:「見知らぬ人」のことを a stranger と言います。これは strange から派生した単語ですね。

18.

解答 ③

【解説】

正解は③「天気、天候」です。「How's the weather today?」(今日の天気はどうですか?)という質問は日常会話でよく使われますね。①「climate」は、その地域特有の、一年を通じた長期的な「気候」を指します。②「温度」は temperature、④「季節」は season です。

◆補足:「天気予報」は weather forecast または weather report と言います。

19.

解答 ④

【解説】

正解は④「as usual」です。「usual」は「いつもの」という意味の形容詞で、「as usual」で「いつも通りに、相変わらず」という副詞句になります。「He came to school late as usual.」(彼はいつも通り学校に遅刻してきました。)①、②、③はいずれも「as ... as」を用いた重要表現ですが、意味は全く異なります。

◆補足:「How are you?」と聞かれて「Same as usual.」(いつもと同じだよ)と答えることもあります。

20.

解答 ④

【解説】

正解は④「sunset」です。「sun」(太陽)と「set」(沈む)が合わさった単語で、「日没」や「夕日」を意味します。「The sunset was beautiful yesterday.」(昨日の夕日は美しかった。)①「sunrise」は「日の出」で、反対の言葉です。②「sunshine」は「日光、日差し」、③「shadow」は「影」を意味します。

◆補足: beautiful sunset (美しい夕日) はよく使われる組み合わせです。

21.

解答 ③

【解説】

正解は③「cry」です。「The baby started to cry.」（その赤ちゃんは泣き始めた）のように使います。①「try」は「～を試す」、②「dry」は「～を乾かす」、④「fly」は「飛ぶ」という意味です。

◆補足：「cry」には「大声で叫ぶ」という意味もありますが、通常は「泣く」の意味で使われることが多いです。過去形・過去分詞形は cried と、y を i に変えて ed をつけます。

22.

解答 ③

【解説】

正解は③「score」です。「What was your score on the test?」（テストの点数は何点でしたか？）のように使います。①「grade」は、A, B, C や 5, 4, 3 のような段階で評価される「成績」や、「学年」を意味します。②「point」も「点」ですが、ゲームの得点などでよく使われます。④「record」は「記録」です。

◆補足：score は動詞として「得点する」という意味でも使われます。例：He scored a goal. （彼はゴールを決めた。）

23.

解答 ②

【解説】

正解は②「homework」です。「home」（家）と「work」（勉強、仕事）がくっついた単語で、学校から家でしてくるようにと出される「宿題」を指します。「I have a lot of homework today.」（今日は宿題がたくさんあります）のように使います。①「housework」は「家事」、③「office work」は「事務の仕事」、④「hard work」は「大変な仕事、努力」を意味します。

◆補足：homework は数えられない名詞として扱われるのがポイントです。そのため、たくさんの宿題があっても“many homeworks”とは言わず、“a lot of homework”や“much homework”のように表現します。

24.

解答 ②

【解説】

正解は②「デザイン、設計」です。物事の見え方や構造についての「デザイン、意匠、設計」を意味する名詞です。「I like the design of this car.」（私はこの車のデザインが好きです。）①「署名」は

sign、③「デザート」は **dessert**、④「辞任する」は **resign** です。似た単語と混同しないようにしましょう。

◆補足：design は動詞として「～をデザインする、設計する」という意味でも使われます。例：She designed this building. (彼女がこの建物を設計しました。) デザインをする人は **designer** (デザイナー) ですね。

25.

解答 ①

【解説】

正解は①「激しい、ひどい」です。「heavy」は「重い」という意味でよく知られていますが、雨や雪、交通量などが「激しい、ひどい」という意味でも使われます。「heavy rain」で「大雨」、「heavy snow」で「大雪」、「heavy traffic」で「交通渋滞」となります。②「重い」も heavy の正しい意味ですが、この問題の文脈では①が最も適切です。③「軽い」は light、④「遅い」は slow です。

◆補足：light rain で「小雨」となり、heavy rain の反対の表現になります。

26.

解答 ②

【解説】

正解は②「調子が悪い、間違った」です。「wrong」は「間違っている」という意味の基本的な形容詞です。Something is wrong with ～の形で、「～の調子がどこかおかしい」という不調を表すのによく使われます。問題文は「私のコンピュータの調子がどこかおかしい」という意味です。①「正しい」は right で、反対の言葉です。③「強い」は strong、④「長い」は long です。

◆補足：人に対して「You are wrong.」と言うと「あなたは間違っている」という直接的な否定になります。もう少し柔らかく言いたいときは「I think you are mistaken.」のような表現が使われます。

27.

解答 ③

【解説】

正解は③「many」です。「たくさんの～」を表します。「lots of」も同じ意味ですが少し口語的、つまり話し言葉でよく使われる傾向があります。「a lot of」／「lots of」は数えられる名詞にも数えられない名詞にも使えますが、many は数えられる名詞と一緒にしか使えませんので注意しましょう。①は「少しの～」、②は「いくらかの～」、④には of が必要です。

◆補足：「a lot of」と「lots of」、どちらを使っても意味は通じますが、フォーマルな文章では「a lot of」の方が好まれることがあります。

28.

解答 ②

【解説】

正解は②「get home」です。「get to + 場所」で「～に着く」という意味になり、「home」は副詞なので to が不要で get home となります。「家に着く、帰宅する」という到着を表します。「What time did you get home yesterday?」（昨日、何時に家に着きましたか？）①「go home」は「家に帰る」という家へ向かう動作、③「come home」は話者のいる家へ「帰ってくる」動作、④「leave home」は「家を出る」動作を指します。

◆補足：arrive home も「家に着く」という意味で使えますが、get homeの方がより口語的で日常会話でよく使われます。

29.

解答 ④

【解説】

正解は④「bring」です。「bring」は、聞き手や話し手のいる場所へ、物や人を「持ってくる、連れてくる」という、近づく動きを表します。「Please bring your textbook tomorrow.」（明日、教科書を持ってきてください。）①「take」は、ここからどこかへ「持っていく、連れて行く」という、離れていく動きを表します。②「carry」は「運ぶ」、③「send」は「送る」です。

◆補足：bring の過去形・過去分詞形は brought です。発音もスペルも難しい不規則動詞なので、何度も練習して覚えましょう。

30.

解答 ②

【解説】

正解は②「はるばる、ずっと」です。「all the way」は、道のりの全体、つまり初めから終わりまで「ずっと」という意味を表し、距離が長い場合には「はるばる」というニュアンスになります。「He came all the way from Hiroshima.」（彼ははるばる広島から来てくれました。）①「いつも通り」は as usual、③「途中で」は on the way、④「ところで」は by the way です。

◆補足：スポーツの応援などで“Go all the way!”という掛け声が使われることがあります。これは「最後までやりきれ!」「優勝しろ!」というような意味になります。

31.

解答 ③

【解説】

正解は③「もう一つ～、もう一人～」です。「one more」で「もう一つ」という意味になり、後ろに名詞を続けることで「もう一つ（一人）の～」と追加を表すことができます。「Could I have one more cup of coffee?」（コーヒーをもう一杯いただけますか？）のように使います。①、②、④はそれぞれ異なる意味の表現です。

◆補足：「once more」や「one more time」で「もう一度」という意味になります。何かをもう一度お願いするときなどに使える便利なフレーズです。

32.

解答 ③

【解説】

正解は③「赤ちゃんを産む、出産する」です。「have a baby」は「赤ちゃんを産む」という行為を表す決まった言い方です。「My sister is going to have a baby next month.」（姉は来月、出産予定です。）のように使います。

◆補足：「give birth to a baby」も「出産する」という意味の表現ですが、「have a baby」の方がより日常的な言い方です。

33.

解答 ①

【解説】

正解は①です。click は、パソコンのマウスのボタンを「カチッ」と押すときに使われる動詞です。問題の文は「そのファイルを開くには、このアイコンの上でクリックする必要があります」という意味になります。「(キーボードで) 入力する」場合は type という動詞を使います。

◆補足：double-click で「ダブルクリックする」となります。また、click は名詞として「カチッという音」そのものを指すこともあります。

34.

解答 ②

【解説】

正解は②「果物」です。一般的には数えられない名詞として扱いますが、種類を言うときは fruits と複数形にすることもあります。「What kind of fruit do you like?」（どんな果物が好きですか？）①「野菜」は vegetable、③「根」は root、④「流れ」は flow です。

◆補足：フルーツポンチは英語で fruit punch、フルーツサラダは fruit salad と言います。

35.

解答 ①

【解説】

正解は①「math」です。学校で学ぶ「数学」のことですね。「I'm not good at math.」（私は数学が苦手です）のように使います。②「music」は「音楽」、③「history」は「歴史」、④「science」は「理科、科学」です。どれも大切な教科の名前ですね。

◆補足：math は mathematics の短い形で、日常会話では math がよく使われます。イギリス英語では maths と s をつけて言うのが一般的です。

36.

解答 ④

【解説】

正解は④「upset」です。「She was upset about the news.」（彼女はその知らせに動揺していた）のように使います。①「quiet」は「静かな」、②「calm」は「穏やかな」、③「happy」は「幸せな」という意味です。

◆補足：upset は動詞としても使え、「(人の気持ち)を動揺させる」や「(計画など)をひっくり返す」という意味になります。過去形、過去分詞形も upset のまま変化しません。

37.

解答 ③

【解説】

正解は③「落ちる、降る」です。「Leaves fall from the trees in autumn.」（秋には木々から葉が落ちる。）①「感じる」は feel、②「満たす」は fill、④「失敗する」は fail です。

◆補足：fall の過去形は fell、過去分詞形は fallen です。不規則動詞なので注意しましょう。また、名詞として「秋」（アメリカ英語）や「滝」という意味もあります。

38.

解答 ④

【解説】

正解は④「昼食の時間」です。「lunch」（昼食）と「time」（時間）がくっついてできた単語で、お昼ご飯を食べる時間帯を指します。「It's almost lunchtime. I'm hungry.」（もうすぐお昼の時間だ。お腹がすいた。）①「朝食の時間」は breakfast time、②「夕食の時間」は dinnertime、③「休憩時間」は break time と言います。

◆補足：lunch break で「お昼休み」という意味になります。lunchtime が食事の時間そのものを指すのに対し、lunch break は仕事や学校の間の休憩時間というニュアンスが強いです。

39.

解答 ③

【解説】

正解は③「talk」です。「talk」は、二人以上の人がお互いに「会話する、おしゃべりする」という双方向のコミュニケーションを指す最も一般的な単語です。「Let's talk about our plans.」（私たちの計画について話しましょう）のように使います。①「speak」は一方的に「話す」ことや言語能力、②「say」は「～と言う」と内容を、④「tell」は「～に伝える」と相手への伝達を指します。

◆補足：talk with A や talk to A で「A と話す」となります。with は対等な会話、to は少し一方的なニュアンスがありますが、多くの場合交換可能です。

40.

解答 ②

【解説】

正解は②「最初は」です。「at first」は、「初めのうちは～だった（けれど、後には変わった）」という、過去と現在の対比を表す文脈でよく使われます。①「最後に」や④「とうとう」は at last や finally、③「初めて」は for the first time など表現されます。

◆補足：「first」だけでも「最初に」という意味の副詞として使えますが、「at first」は「でも今は違う」という気持ちが含まれていることが多いです。

41.

解答 ④

【解説】

正解は④「お知らせ、アナウンス」です。「I heard an announcement about the train delay.」（電車の遅延についてのアナウンスを聞きました。）①「アパート」は apartment、②「娯楽」は amusement、③「金額」は amount です。

◆補足：動詞の announce（アナウンスする、知らせる）から派生した名詞です。ニュースキャスターやアナウンサーは announcer と言います。

42.

解答 ③

【解説】

正解は③「usually」で、副詞です。「I usually get up at six.」(私はたいてい6時に起きます。) ①「always」は「いつも(100%)」、②「sometimes」は「時々」、④「finally」は「ついに、やっと」という意味です。

◆補足：頻度の高さは一般的に、always (100%) > usually (90%程度) > often (70%程度) > sometimes (50%程度) > never (0%) のようになります。この順番をイメージしておくとう分かりやすいですよ。

43.

解答 ①

【解説】

正解は①「～に気づく」です。「Did you notice her new hairstyle?」(彼女の新しい髪形に気づきましたか?) のように使います。③「～を無視する」を意味する ignore は、気づいているのにあえて見ないようにする、というニュアンスです。

◆補足：notice は名詞として「通知、掲示、予告」という意味もあります。お店の入り口などに貼ってある「お知らせ」などですね。

44.

解答 ③

【解説】

正解は③「right」です。「That's right.」(その通りです) は、相手の言ったことに同意するときの定番の相づちですね。①「wrong」は「間違った」という意味で、「right」の反対の言葉です。②「light」は「軽い」や「明るい」、④「bright」は「明るい」という意味です。

◆補足：right には「右、右の」という意味や、「権利」という意味もあります。とても多くの意味を持つ単語なので、文脈で判断することが大切です。まずは「正しい」と「右」の二つをしっかりと覚えましょう。

45.

解答 ④

【解説】

正解は④「～を壊す、割る」です。「Be careful not to break the plate.」(お皿を割らないように気をつけて。) ①「～を修理する」は fix や repair で、反対の意味になります。②「～を建てる」は build、③「～を投げる」は throw です。

◆補足：「break」の過去形は broke、過去分詞形は broken です。不規則動詞なのでしっかりと覚えましょう。名詞として「休憩」(take a break)の意味で使われることも非常に多いです。

46.

解答 ④

【解説】

正解は④「雨合羽（レインコート）」です。「rain」（雨）と「coat」（コート）が合わさった単語で、雨の日に着る防水性の上着を指します。「You should wear a raincoat today.」（今日はレインコートを着た方がいいですよ。）

◆補足：rain を使った複合語は他にもあります。例えば、rainbow（虹）、rainfall（降雨量）、raindrop（雨粒）などがあります。

47.

解答 ③

【解説】

正解は③「恐ろしい、怖い」です。「scary」は、物事が「人を怖がらせるような」ものであることを表す形容詞です。「It was a scary movie.」（それは怖い映画でした）のように使います。人が「怖がっている」という感情を表すときは scared を使います。例：I'm scared.（私は怖いです。）

◆補足：scary と scared の使い分けは、exciting と excited の関係に似ていますね。「物事」が主語なら-ing 形（scary）、「人」が主語なら-ed 形（scared）と覚えておくと分かりやすいです。

48.

解答 ①

【解説】

正解は①「普通でない、珍しい」です。「usual」（いつもの、普通の）という単語に、否定を表す接頭辞「un-」がついてできた言葉です。めったにないことや、風変わりなことを指します。「It's unusual for him to be late.」（彼が遅刻するなんて珍しい。）②「いつもの」は usual、③「役に立つ」は useful、④「使われていない」は unused です。

◆補足：un- は、happy→unhappy（不幸せな）、lucky→unlucky（不運な）のように、多くの形容詞について反対の意味を作る便利な接頭辞です。

49.

解答 ④

【解説】

正解は④「sightseeing」です。「sight」（景色、名所）と「seeing」（見ること）が合わさった単語で、旅行先などで有名な場所を見て回る「観光」を意味します。「go sightseeing」で「観光に行く」という

定番の表現になります。①「shopping」は「買い物」、②「surfing」は「サーフィン」、③「camping」は「キャンプ」です。

◆補足：「観光客」は tourist と言います。

50.

解答 ②

【解説】

正解は②「遠く離れて」です。「far」は「遠い」、「away」は「離れて」という意味で、二つ合わせて「遠く離れて」と距離があることを強調する表現になります。「He lives far away from here.」（彼はここから遠く離れたところに住んでいます）のように使います。①「すぐ近くに」は close by や near here、③「向こう側に」は on the other side など表現します。

◆補足：so far away のように so をつけて「とても遠く離れて」と、さらに強調することもできます。
